

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 1日

事業所名 ILIS CLUB 八尾南

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	60%	40%	・個室が1つありフロアもバリアフリーでフロア内も広く過ごしやすい空間となっています。	今後、個室の増設等を検討しています。
	2	職員の配置数は適切である	20%	80%		加配人員が配置できない時期がありましたが、療育内容と職員の配置に齟齬がないように朝礼時に役割分担等を確認し当日の療育内容が実施できるようにします。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	60%	40%	・フロア全室トイレもバリアフリー化になっています。	フロアの構造については、今後個室の増設等を行う際にスタッフでフロア空間の利用方法等を検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	40%	60%	・朝礼終礼を行い、全スタッフで気づいた内容を記録し周知しています。	スタッフ全員が意見を発信し、多くの業務改善点に気づき改善策を講じることができるようにします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	60%	40%	・保護者様からご指摘して頂いた内容を事業所内で改善策を検討し、事業所運営に努めていきます。	保護者様の評価表の結果と各スタッフの自己評価を踏まえて改善点についてスタッフで分析し改善策を考え改善に向けて取り組みます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	60%	40%		ホームページで公表しています。事業所会議等でスタッフ全員が確認する機会を設けます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	60%	40%	社内評価を定期的に行っています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	80%	20%	社内外で定期的に研修に参加しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・保護者様のニーズを考えながら作成し、事業所内で担当者会議を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	60%	40%	アイリスクラブ全体で統一した書式を使用しています。	アセスメント内容をよりよい内容に改善できるように社内での検討事項として考えます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	60%	40%	・朝礼事業所会議での翌月のカレンダー等活動のプログラムを立案及び検討をしています。	チーム全員が意見を発信し検討できるように立案方法等をよりよい方法がないかを検討します。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・事前に考え準備を行っています。	保護者様の評価結果から、療育内容の幅を広げることができるようスタッフ全員が外部の情報収集等に努めます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	60%	40%	・活動時間に応じお子さまひとりひとりの課題を決めて支援を行なっています。	利用時間数や利用回数に応じてお子さまに必要な療育内容を提案できるようにスタッフで日々検討いたします。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	80%	20%	・お子様の発達段階に応じて個別支援、小集団支援、集団支援を組み合わせ個別支援計画書を作成しています。	スタッフ全員が意見を発信し、分析し適切な組み合わせで個別支援計画書に反映できているかどうかより一層検討いたします。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20%	・朝礼時に当日のレクレーションを話し合い個々の目標を職員間で確認を行っています。	朝礼時に療育中の役割分担等を確認し当日の療育内容が実施できるようにします。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	20%	・終礼時や業務日報で振り返りを行い支援中の様子を全職員で共有し内容を記入しています。	終礼時に当日の療育の振り返りを行い、朝礼時の内容と違った点等を検討し記録するようにします。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80%	20%	・朝礼終礼ファイルに支援内容連絡事項、改善内容について記入しています。	記録された内容をスタッフ間で検討し、お子さまひとりひとりの次回の支援に繋がります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・保護者様と面談等でモニタリングを実施しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	80%	20%		スタッフが基本活動の内容理解をより深め日々の療育内容に組み合わせることができるよう知識を深めます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	60%	40%	・担当者会議には、児童発達支援管理責任者と適切な職員が参画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・学校との情報共有年間計画、送迎時の対応トラブル発生の連絡を適切に連絡を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	40%	60%		・医療的ケアが必要な子どもに関して主治医と連絡体制が必要な場合は、保護者と主治医と連携を取り連絡体制を整えて参ります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%	・就学前の保育所こども園、支援事業所と連絡を取り、情報共有を行いながら相互理解に努めています。	・関係機関との連携を深め、支援内容情報共有し、より良い支援内容を提供できるよう努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	40%	60%		・関係機関との連携を深め、支援内容情報共有し、より良い支援内容を提供できるよう努めます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	40%	・研修会に参加しています。	研修会の情報収集をし、スタッフが研修に参加できるように検討します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	40%	60%		・コロナ前は地域の子供祭りに参加している時もありました 今後は保護者様とのニーズに合わせながら検討していきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	20%	80%		・コロナ終息後、交流を深めていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎の際直接、出来た事や課題などを説明しています。また、保護者様からも自宅での様子や園での様子をお伝えして頂いています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	40%	60%		・ペアレント・トレーニングについて、職員の知識を深めるよう努めていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時に分かりやすく説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・保護者の方からの相談や周知・説明については迅速かつ適切に対応できるように心がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20%	80%		・コロナ化で中止していますが、終息後に親の会を開催できるよう検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・保護者の方からの相談や苦情については迅速かつ適切に対応できるように心がけています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月のお便り等で活動の内容を発信しています。自己評価表を年に1回ホームページ内で公開し、日々の改善に勤めています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	・個人情報の取り扱いについては、鍵付きの書庫や金庫に保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・一人一人に対応をさせて頂いています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	20%	80%		・コロナ化の為地域住民を招待する等の地域に開かれた参加は出来ていませんが、今後事業運営を図っていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	60%	40%		・職員では周知しておりますが、保護者様へは周知できる機会が少ない為お便りなどでお伝えできる機会を設けていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・月に1度避難訓練を行い(火災、震災、不審者、水害)など季節や時期を見ながら設定を行いお子様も含めて実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・年に1回事業所内で虐待防止研修を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	60%	40%	・保護者様と話し合いを行い身体拘束に関する説明を行っています。	身体拘束が必要な場合は、適宜適切な対応をいたします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	20%	・食物アレルギー等の対応方法について一覧表を作成し職員間で周知し確認できるよう行っています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・毎日の朝礼終礼時に職員間で共有を行い事例の話し合いを行っています。	